



鹿児島市立本名小学校

校長室から

鹿児島市立本名小学校 第44代校長 野口 貴弘

《御挨拶》

創立145周年の歴史と伝統を未来に生かす教育活動

令和6年度、創立145年を迎える歴史と伝統ある本校は、「八幡山に日は映えて～」で始まる校歌の一節にあるとおり、裏手の八幡山中腹の八幡神社が学校を見守るようにあり、学校敷地内に鳥居がある日本でも珍しい学校の一つです。

令和6年度は10学級（含特別支援学級4学級）、188名の児童と20名の教職員（令和6年5月1日現在）で、教育活動に取り組んでいきます。

『【徳】思いやりがあり、仲良く助け合う子 【知】よく考え、自ら進んで勉強する子 【体】心も体も健康で、はつらつとした子』を目指して、職員一丸となって邁進してまいりますので、今年度も皆様の御理解・御協力・御支援をよろしくお願い申し上げます。

【学校教育目標】

豊かな心と確かな学力をもち、心身ともに健康で、生きる力を身に付けた本名の子どもを育成する。

【校訓】「学び合い 喜び合い はげまし合い」

【学校自慢】「発明工夫の教育」（45年目）

【キャッチフレーズ】「発明工夫の本名小学校」

【研究テーマ】「学習者主体の授業を目指して」

～読解力を高める国語科を中心とした各教科の指導を通して～

【一学校一改革】「子どもたちが自ら作り出す教育活動」

- ・授業の在り方
- ・学校生活の在り方

